

# 環境あきた -ACCCA NEWSLETTER- 県民フォーラム通信

令和6年  
1月

フォーラムの活動や環境に関する情報などをお伝えします!

## ご挨拶

皆様におかれましては、清々しい気持ちで新たな年を迎えられたことと思います。

新年早々、能登半島では巨大地震によって甚大な被害が発生し、また羽田空港では衝撃的な航空機の衝突事故があり、予期せぬ幕開けとなってしまいましたが、この一年穏やかになってくれることを心から願っているところです。

さて、昨年を振り返って見ますと、県内では7月中旬に集中豪雨のため秋田市を中心に内水氾濫によって多くの家屋が浸水するなど甚大な被害が発生しました。またその後、長期にわたって記録的な猛暑に見舞われ、さらに秋に入ってから生活圏へのクマの出没が多発し、人身被害が過去最多になるなど、自然の大きなしっぺ返しを受けているように感じております。

この集中的な雨の降り方や気温の上昇は、温暖化に伴う気候変動の影響も大きく関わっており、このような現象がこれからの日常になっていくのではないかと大変危惧しているところです。

こうした中で、当面する環境の課題は多岐にわたっておりますが、まずは持続可能な社会の実現を目指し、地球温暖化への対応に最優先・最重視して取り組むとともに、プラスチックごみや食品ロスなどの問題が顕在化していることから、動脈産業と静脈産業の連携による地域での資源循環経済（サーキュラーエコノミー）の構築に向けた取り組みが求められてきております。加えて安全・安心な住環境を確保するため、里山や森林の保全といった視点での取り組みも重要になっております。

理事長 佐藤 充



さて、ご案内のように私どもNPO法人は、県指定の地球温暖化防止活動推進センターとしての活動を機軸にしながら、地域に根差した環境保全活動を支援し盛り上げていくことを取組みの柱としております。

そして、これまで温暖化対策については、地域的に「点」としての活動が主になっていましたが、対策をより効果的に進めるためには地域的な拡がりを持った、いわば「面」としての取組みが重要であると考え、その方向にシフトしてきております。

折しも県内では9つの市町村がカーボンニュートラルあるいはゼロカーボン宣言を行っており、地球温暖化対策を始めとする環境への取組みの機運が高まっていることから、まずはこうした自治体に働きかけを強めているところです。

今後は、これまで以上に市町村とのつながりを大事にしながら、地域での活動を担われている「あきたエコマイスター」や「地球温暖化防止活動推進員」の方々と連携して地域密着型の取組みに力を入れていきたいと考えております。

また、企業の皆様の脱炭素経営への取組みを支援するため、引き続き、セミナーを開催するなど関連情報の提供に力を注いでいきたいと考えております。

社会環境や自然環境は大きく変わりつつあります。

こうした変化を見極めつつ、これからも持続可能性をキーワードにしながら皆様と一緒に取り組んでまいりたいと考えておりますので、これまで以上のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。

## 認定特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム

### 【役員】

理事長：佐藤 充  
理事：小笠原 正剛  
理事：高橋 行文  
理事：西川 裕之  
監事：高井 宏司

副理事長：原田 美菜子  
理事：木口 倫  
理事：照井 昌子  
理事：畠中 豊  
監事：嵯峨 良章

副理事：佐々木 弘夫  
理事：草皆 次夫  
理事：中嶋 清実

### 【事務局】

事務局長：泉 公夫  
スタッフ：原田 麻子

スタッフ：石塚 亨  
スタッフ：齊藤 妙子

スタッフ：橋本 文

# フォーラムのこの一年間の主な動き

## 総会と理事会の開催状況

令和5年に開催した総会と理事会の開催状況は次の通りです。

月 日	事 項	開催場所	主 な 内 容
1/11 (水)	令和4年度第3回理事会	林泉会館	▷決議事項 ・旅費規程の一部改正 ▷報告事項 ・各種事業の実施状況等
3/24 (金)	// 第4回理事会	//	▷決議事項 ・給与規程の一部改正 ▷報告事項 ・各種事業の実施状況等 ▷意見交換 ・令和5年度の自主事業
5/22 (月)	令和5年度第1回理事会	//	▷決議事項 ・令和5年度総会に付議する事項 ▷報告事項 ・理事の退任等
5/27 (土)	// 総 会	遊 学 舎	▷議案の審議 ▷記念講演「南極越冬体験記」
6/27 (火)	// 第2回理事会	林泉会館	▷協議事項 ・理事の役割分担 ・令和5年度事業計画 ▷報告事項 ・各種事業の状況
12/19 (火)	// 第3回理事会	//	▷決議事項 ・職員への賞与 ▷報告事項 ・各種事業の実施状況等

## 通年の 事業

## 湯沢市脱炭素セミナー事業の受託

湯沢市では、令和4年6月に市、議会、湯沢商工会議所、ゆざわ小町商工会の4者で「湯沢市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、これを受けて同年から地球温暖化対策に精力的に取り組んでいます。

当フォーラムでは昨年度の企業向けセミナーと行政向けセミナーの開催業務に引き続き、今年度も脱炭素セミナーの開催業務を受託し、お手伝いをしています。

令和5年に行った内容は以下の通りです。

### ● R5/1/23 脱炭素まちづくりセミナー (令和4年度事業)

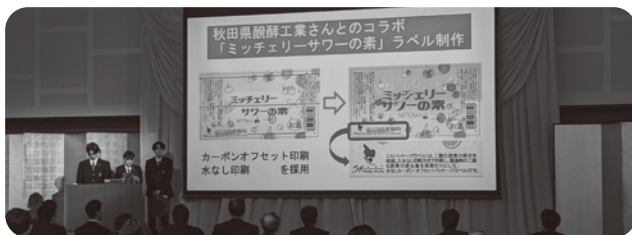
市議会議員と市職員を対象に、「環境のピンチをまちづくりのチャンスに変える～自治体が押さえるべきポイントと実践例～」と題し、公益財団法人地球環境戦略研究機関 上席研究員 藤野純一氏を講師に迎え開催されました。

同氏からは、気候変動の最前線、脱炭素とまちづくりの関係（環境・経済・社会の相互の関わり）、脱炭素の取組みを地域課題解決や地域活性化に活かす取組みなどについて、豊富な事例などを紹介していただきました。



### ● R5/11/20 「Yuzawa Zero Carbon Pitch」(令和5年度事業)

事業者や金融機関等を対象にした「Yuzawa Zero Carbon Pitch」は、湯沢市を会場に開催され、多くの女性を含む103名の参加がありました。ゲスト講師に公益財団法人地球環境戦略研究機関の上席研究員 藤野純一氏を迎え、市内を代表する企業である秋田銘醸(株)、秋田エプソン(株)、(株)稲庭うどん小川、Orbray(株)からエコ対策に工夫して取り組んでいる内容が紹介され、さらに湯沢翔北高校の生徒達から温暖化対策に向けた熱い思いとアイデアが語られました。また、藤野氏をはじめ地元の関係者など5名によるパネルディスカッションが行われ、藤野氏による話題提供を踏まえ、熱心な意見交換が行われました。



### ● R6/1/23(予定) 行政向けセミナー (令和5年度事業)

行政向けのセミナーについては、東北芸術工科大学デザイン工学部・環境デザイン学科の三浦秀一教授を講師に迎え、お話いただくことにしています。講演テーマ：「ゼロカーボンを通じて、まちも人も自然も元気に！」

## 通年の事業

# 秋田県認定リサイクル製品展示・PR事業(県委託事業)

県民や事業者への認知度を高め認定事業者の販売促進につなげることを目的に、秋田県認定リサイクル製品の展示を行い、多くの方に展示ブースへお立ち寄りいただきました。今後も各種研修会の会場等にて、認定製品の展示を行います。

- ・R5/1/13～1/26 遊学舎
- ・R5/1/28～2/1 にぎわい交流館AU
- ・R5/10/25 3R推進全国大会(会場:あきた芸術劇場ミルハス)
- ・R5/12/2 科学フェスティバル(会場:由利本荘市総合体育館)
- ・R5/12/6～12/8 エコプロ2023(会場:東京ビッグサイト)



## 通年の事業

# 環境あきたエコ活動支援助成金事業の実施

県では環境保全の意義や重要性について官民の理解を深め、豊かな水と緑あふれる秋田を将来に継承していくため、民間団体が自主的に行う環境保全活動に助成できる制度を令和元年度に設けており、当フォーラムがそれを活用して活動を支援してきています。

- ▷対象団体……公益的、社会的な活動を行うNPO等(NPO法人、社団法人、市民活動団体、地縁団体など)の団体で、県内に主たる拠点を置き、活動の主たる範囲が県内であること
- ▷対象事業……①環境保全に関する実践活動  
②環境保全に係る教育啓発活動  
③環境保全に関する身近な調査研究活動
- ▷助成額……助成対象事業の実施に要する経費の9/10(上限額30万円)
- ▷対象経費……講師等の謝金・旅費、消耗品費、印刷製本費、使用料・貸借料、通信・運搬費等



## R5/3/11 令和4年度事業報告会

この事業を周知し広く活用を促すため、令和4年度に取組を行った8団体による事業報告会を秋田市において開催しました。

1	NPO 法人三角沼の会(秋田市)	公園美化活動、ピオトーブづくり
2	秋田県自然観察指導員連絡協議会(五城目町)	障害者と健常者が一緒になった自然に親しむ活動
3	NPO 法人秋田水生生物保全協会(秋田市)	小中学生と馬場目川の魚類等調査と小冊子の作成
4	三湖伝説連絡協議会(湯上市)	小中学生を対象に八郎湖のアオコの生態と抑制についての学習
5	NPO 法人あきた白神の森倶楽部(藤里町)	SDGsと自然との関係をテーマにした講演会の開催
6	NPO 法人おのぼホルタル会(秋田市)	街なかでのホルタル生育の取組み
7	ときめき工房・ねまー(能代市)	高校生を中心にした「アースディ」の取組み
8	横堀地域づくり協議会(湯沢市)	桜並木の環境整備と折れた枝を活用した鉛筆づくりなど

## 令和5年度の事業実施団体(6団体)

令和5年度は次の団体が活動に取り組んでいます。

1	秋田県スキューバダイビング連盟(秋田市)	ダイバーによる海洋ゴミの清掃と調査活動
2	三湖伝説連絡協議会(湯上市)	八郎湖集水域の河川に着目した保全活動
3	NPO法人鳥海山麓グリーンネット(由利本荘市)	環境保全を維持する地域循環型農業を学ぶ活動
4	アースディ男鹿実行委員会(男鹿市)	「アースディ男鹿2023」と講演会の開催
5	ときめき工房・ねまー(能代市)	「アースディ能代」の取組みと環境フォーラムの開催
6	菜の花いろプロジェクト(羽後町)	菜の花トーク(農法を学ぶ講演会)の開催

## R6/3/9(予定) 令和5年度事業報告会

令和5年度に事業に取り組んだ6団体による事業の報告会を秋田市で開催する予定です。



## スポットな 取組み

# 第21回あきたエコフェス ～ゼロカーボンと3Rで変わる未来～への参画

第21回目を迎えた「あきたエコフェス」は、県民、民間団体、大学及びNPO法人等との連携のもと、秋田の豊かな自然や地球温暖化をはじめとする環境問題、省エネルギー・再生可能エネルギー・3Rなどに関する情報発信を行うとともに、大人も子どもも一緒に楽しみながら「環境」について学習することを通じて、県民が環境と経済の好循環によって変わる将来の秋田の姿をより身近なものとしてイメージできる場を提供する目的で、9月2日・3日の両日、秋田駅前のアゴラ広場を中心に開催されました。

これまで、このイベントは「あきたエコ&リサイクルフェスティバル」として開催され、広く県民に定着してきましたが、地球温暖化対策への取組みが重視されるなどしてきていることから、今回「あきたエコフェス～ゼロカーボンと3Rで変わる未来～」と題して行われました。

これに伴い、展示ブースの拡充を図りつつ分野ごとに見やすくなったほか、新たな試みとしてエコ講演会が同時開催されました。当フォーラムは引き続き、実行委員会の事務局として主体的に関わるとともに、エコ講演会パネルディスカッション（テーマ：環境の視点から考える「未来のあきた」）に特別協賛いたしました。

来場者数は2日間で27,000人を数え、多くの方々に環境に対する関心を持っていただきました。



【 出展ブース……50 (令和4年：32) 】  
(内訳) ▷ゼロカーボンエリア……………18  
▷環境保全エリア……………6  
▷クリーンアップエリア……………4  
▷再生可能エネルギーエリア………9  
▷3Rエリア……………11  
▷その他……………2



## スポットな 取組み

# 第17回3R推進全国大会への参加

第17回となる「3R推進全国大会」が10月25日に秋田市のミルハスを会場に開催されました。大会式典に続いて記念シンポジウムが開催され、基調講演では「3R・循環経済の加速化に向けて」と題して3R活動推進フォーラム会長・東海大学副学長・慶応義塾大学名誉教授の細田衛士氏からお話があり、続いて「循環型社会の実現に向けた共創とイノベーション」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネリストとしてNPO団体の立場から佐藤理事長が登壇しました。

佐藤理事長からは、自主財源による自主事業、地球温暖化防止活動推進センターとしての事業及び県からの委託・補助事業の三つの事業を絡め合わせながら、テーマに沿って取り組んでいる内容を中心に紹介しました。

また、会場エントランスに設けられた展示スペースでは、秋田県認定リサイクル製品を展示し、PR活動を行いました。



# ★環境情報★

# 「デコ活」って、なに？

みなさん「デコ活」をご存知でしょうか。  
 「デコ活」とは、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて環境省が推進する国民運動の愛称です。  
 これまで国民運動として進められていた「COOL CHOICE」は「デコ活」に移行し、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル転換を促し、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る「デコ活」を推進しています。



## ■デコ活アクション(取組)

暮らしを豊かにより良くする具体的な取組として、デ・コ・カ・ツにちなんだ“まずはここから”の4アクションが提案されています。

Decarbonization(脱炭素)	=	デ
環境に良いエコ(Eco)	=	コ
生活・活動	=	活

### まずはここから!デコ活4アクション(取組)

- デ** 電気も省エネ 断熱住宅
- コ** こだわる楽しさ エコグッズ
- カ** 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ** つながるオフィス テレワーク

※ほかのアクションについても環境省のウェブサイトにて紹介されています。詳細はこちらから⇒



## 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

毎月3万6千円浮きます(年43万円)

一日プラス1時間以上を好きなことに(年388時間)

デコ活アクションに併せ、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」について、「食品ロスの削減で約8,900円/年節約」「エアコン及び冷蔵庫を買い替えて電気代が約18,800円/年お得」「毎日のテレワークでガソリン代が約61,300円/年お得」など、想定されるメリットを公表しています。

豊かで環境にやさしい暮らしを目指して、みなさんも自分に合った「デコ活」から始めてみませんか？

※「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」に係るCO<sub>2</sub>削減効果とメリットについての詳細は、環境省ウェブサイト内「『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後』の関連資料(PDF)」から⇒



# フォーラム情報

## ●会員数

2023年12月末現在の会員数は次の通りです。

区分	正会員	賛助会員	合計
個人	26	77	103
企業	13	65	78
市民団体	6	5	11
業界団体	—	6	6
行政	1	—	1
合計	46	153	199

## ●会員募集のお願い

未来の子どもたちのために、秋田の環境をより良くしようという活動の応援団として、当法人の活動に賛同し入会してくれる方を募集しております。

年会費

	正会員	賛助会員
企業・企業関連団体	¥10,000-	¥10,000-
個人・市民団体	¥3,000-	¥1,000-

※金額は1口から何口でも可能です。

納入先

	支店名	口座番号
秋田銀行	県庁支店	普通 560425
北都銀行	山王支店	普通 6099633



※振込名義：認定特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム 理事長 佐藤充  
※手数料無料の振込用紙を希望される方は事務局へご連絡ください。直接事務局にお持ちいただくことも可能です。

## ●新会員のご紹介

ご加入いただきましてありがとうございました。

【個人】◆正会員（1名）・畠中 様（由利本荘市）

【企業】◆賛助会員（1社）・積進工業株式会社 様（にかほ市）

ありがとうございました！



## ●財務状況

フォーラムの令和4年度決算と令和5年度予算は次の通りです。

### ○令和4年度決算

科 目	金 額 ( 円 )
会費・正会員	227,000
・賛助会員 (寄付金扱い)	1,019,000
寄付金	330,600
補助金	8,150,000
委託金	15,249,442
その他収益	57
小 計	24,976,099
補助事業	8,198,386
委託事業	15,282,918
自主事業	594,277
管理費	512,037
小 計	24,587,618
増 減 額	388,481
正 味 財 産	5,578,263

### ○令和5年度予算

科 目	金 額 ( 円 )
会費・正会員	220,000
・賛助会員 (寄付金扱い)	1,000,000
寄付金	100,000
補助金	8,150,000
委託金	14,942,028
その他収益	22
小 計	24,412,050
補助事業	8,150,000
委託事業	14,942,028
自主事業	575,972
管理費	664,050
小 計	24,332,050
増 減 額	80,000
正 味 財 産	5,658,263

## ●寄付金についてのお礼

ご寄付いただきありがとうございました。皆様の善意を環境活動に活かしてまいります。

企業	(株)秋田県分析化学センター 様 (秋田市)	イオン東北(株) 様 (秋田市)
	第一生命保険(株)秋田支社 様 (秋田市)	(株)三木設計事務所 様 (秋田市)
個人	・伊藤 様 (秋田市) ・小林 様 (秋田市) ・小林(淑) 様 (秋田市) ・高井 様 (秋田市)	
	・田中 様 (秋田市) ・那須 様 (秋田市) ・本田 様 (秋田市)	

ありがとうございました！



## 【編集後記】

令和4年度までフォーラムでは県の委託を受けて「エコマイスターNEWS」を発行してきましたが、「地球温暖化防止活動推進センター」の活動に関する情報については発信媒体がなかったことから、「フォーラム通信」に関連する主な情報を掲載してきました。こうした中で、令和5年度から県の委託事業の中で「エコマイスターNEWS」が見直され、これに変わる形でセンターに関する情報紙として「あきたワンだぁエコ」が発行されることになりました。このため、今後発行する「フォーラム通信」ではセンター情報が重ならないようにしながらフォーラムに関する情報を中心に取り上げていきたいと考えています。ご理解のほどよろしくお願い申し上げますとともに、ご感想やご意見をいただければ幸いです。(橋本)

## 【発行】

認定特定非営利活動法人  
環境あきた県民フォーラム

(秋田県地球温暖化防止活動推進センター/ACCCA)

〒010-0951 秋田市山王5丁目7-6 林泉会館内  
TEL : 018-853-6755 FAX : 018-853-6765  
HP : <http://www.eco-akita.org/>  
E-Mail : [mail@eco-akita.org](mailto:mail@eco-akita.org)

